

OCHIS

【大阪】NPO法人(特定非営利活動法人)ヘルスケアネットワーク(OCHIS、武田裕理事長、大阪大学名誉教授)は2日、大阪市で「健康起因事故のさらなる背景を探る」合わせ技をどうする? 睡眠時無呼吸症候群(SAS)・高血圧・生活習慣・働き方等をテーマにセミナーを開催した。新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、インターネットでも配信した。

健康起因事故セミナー

事例紹介&パネル討論



「最後まで楽しんでいただきたい」と武田理事長

強志課長が「健康起因による事故防止」をテーマに講演。人手不足が進んでいることから、十分な健康管理を行い、ドライバーの「運転寿命」を延ばすことが大切だと強調した。

第2部は「健康起因事故の背景と情報の一元化、そして有効活用」をテーマにした。ラックドドライバーの健康管理と全ト協の取り組み」をテーマに、それぞれ講演した。

武田理事長が「これまで、特に、運送事業者の健康管理を中心支援活動を行ってきた。今回は健康管理の事例紹介に加え、パネル討論も行うので、最後まで楽しんでいただきたい」とあいさつ。

続いて、大原記念労働科学研究所の酒井一博氏が「合わせて一本!」ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの合わせ技」、全ト協交通・環境部の大西政弘部長は「ト

第1部では、国土交通省自動車局安全政策課の村上

システムについて説明した。続くパネル討論では、出席者がパネリストとなり、運送事業における健康管理の課題や今後の展開について意見を交わした。

(中川美咲)